

●臨時休業明けの年間指導計画参考資料

本資料は、「新編 新しい国語」に基づいて、学校での授業と、学校の授業以外の場において取り組む学習活動を併用してご指導いただく場合の学習指導計画案を、一例として示したものです。地域や学校の状況に応じて、適宜ご活用いただければ幸いです。なお、学習内容を年度内に終えることが困難な場合は、次年度に送る等の対応も考えられます。各学校の状況に応じて、適切にご判断ください。また、次年度に送る場合には担当教員間の引き継ぎにご配慮ください。

〈2年〉

学校の授業以外の場において行うことが考えられる学習材・学習活動

4～5月 (11時間)							
	領域 (系統)	学習材名・ページ数・配当時間	学習指導要領との対応	学習目標	配分	学習活動例 (*は指導上の留意点や別案)	評価規準例 (〔 〕は学習活動例との対応)
	読む (詩(巻頭詩))	未来へ 巻頭 1時間	指C(1)ア 〔伝・国イ(イ)〕	・時を表すさまざまな表現に注意して詩の意味を捉え、読み方を工夫して音読する。	0.2 (10分) 0.8 (40分)	1 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。 2 比喩的な表現も含めて、各連で表されている時の流れに注意して詩の意味を捉え、読み方を工夫して音読する。	□詩に描かれた情景や時の流れを捉え、最終連の意味を考えたいうえで、読み取ったことを生かして音読している。〔2〕
1 言葉を感じる	読む (言語感覚)	メッセージをどう聞か P18 2時間	指C(1)ア 〔伝・国イ(イ)〕	・キーワードの意味に注意して、筆者の考えを捉える。	0.6 (30分) 1.4 (70分)	1 タイトル下(P18)を見て、学習目標を確認する。 2 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字や語句を確認する。 3 「メッセージ」という言葉がどんな意味で使われているかに注意しながら、筆者の考えを捉える。	□「メッセージ」というキーワードの意味に注意して、筆者の考えを捉えている。〔3〕
		短歌を楽しむ P21 2時間	指C(1)ア 指C(1)ウ 〔伝・国イ(イ)〕 ⑤C(2)ア	・情景や心情を表す語句に注意して、短歌を読み味わう。 ・短歌の表現の工夫などを捉えて、鑑賞したことをまとめる。	0.4 (20分) 0.6 (30分) 1	1 タイトル下(P21)や「てびき」(P25)を見て、学習目標を確認し、学習の見通しを持つ。 2 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字や語句を確認する。 3 「読み取る」設問①(P25)に取り組み、三首の短歌について情景や心情を捉え、音読して読み味わう。 4 「読み取る」設問②に取り組み、「短歌五首」のそれぞれの歌に詠まれている情景や心情を想像したり、気に入った歌を暗唱したりする。 5 「考えを深める」設問③に取り組み、「短歌五首」(あるいは、「扉の短歌七首」を加えた十二首)から一首を選び、表現の工夫などを捉えて、鑑賞したことをまとめる。	□短歌という形式の特徴を理解するとともに、鑑賞文中の三首や「短歌五首」の内容を捉え、音読・暗唱して読み味わっている。〔3～4〕 □「短歌五首」や「扉の短歌七首」から一首を選び、読み取ったことや想像したこと、表現の工夫など、鑑賞したことをまとめている。〔5〕

					<p>*「言葉の力 短歌を鑑賞する」を読んで、短歌を鑑賞するときのポイントを理解する。</p> <p>*鑑賞したことをグループやクラスで発表し合うのもよい。</p>	
書く 〈詩歌創作〉	短歌のリズムで表現しよう P 26 3 時間	指 B(1)ウ 〔伝・国イ(ウ)〕 活 B(2)ア	・自然や体験の描き方を工夫して、短歌を作る。	3	<p>1 学習目標 (P26) を確認し、学習の見通しを持つ。</p> <p>2 手順①～③ (P26～27) に取り組み、短歌を作って読み合う。</p> <p>*「言葉の力 描き方を工夫する」(P27) を読んで、描き方の工夫についてのポイントを確認する。</p>	□短歌のリズムを意識しながら、自然や体験の描き方を工夫して、短歌を作っている。〔2の②〕
言葉 〈日本語探検〉	方言と共通語 P 28 1 時間	伝・国イ (ア)	・方言と共通語の役割について理解する。	1	<p>1 学習材 (P28～29) を読んで、方言と共通語の役割について理解する。適宜、漢字を確認する。</p> <p>2 「問題」①～② (P29) に取り組む。</p>	□方言と共通語の違いや、それぞれの役割について理解している。〔1～2〕
言葉 〈文法の窓〉	敬語——「敬語釣り堀」で大漁を目指せ P 30 2 時間	伝・国イ (ア)	・敬語の種類や使い方について理解する。	0.3 (15分) 1.7 (85分)	<p>1 学習材 (P30) を読んで、適切な組み合わせを選んで文を完成させる。また、「考えよう」に取り組む。</p> <p>*Dこの学習材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p> <p>2 基 P256～「敬語」を読んで、敬語の種類や使い方について理解を深める。また、「問題」(P257) に取り組む。</p>	□尊敬語・謙譲語・丁寧語という敬語の種類や、それらの使い方について理解している。〔1～2〕

5～6月 (11時間)							
	領域 〈系統〉	学習材名・ページ数・配当時間	学習指導要領との対応	学習目標	配分	学習活動例 (*は指導上の留意点や別案)	評価規準例 〔 〕は学習活動例との対応
2 感想を深める	読む 〈文学一〉	字のない葉書 P32 3時間	指C(1)イ 指C(1)エ 〔伝・国イ(イ)〕 活C(2)ア	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の言葉や行動がどんな意味を持っているかに注意して、作品を読み味わう。 登場人物のものの見方や考え方について、自分の考えを持つ。 	1	1 タイトル下(P32)や「てびき」(P36)を見て、学習目標を確認し、学習の見通しを持つ。 2 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字や語句を確認する。	<input type="checkbox"/> 言葉遣いや行動・態度に注意して、父の思いを捉えている。〔3〕 <input type="checkbox"/> 父のことを振り返っている「私」の思いについて、考えたことを挙げている。〔4〕
					1	3 「読み取る」設問①～②(P36)に取り組み、登場人物の言葉や行動から読み取れる思いに注意して作品を読み味わう。 *「言葉の力 登場人物の言葉や行動の意味に注意する」を読んで、登場人物の言葉や行動から心情を捉えるときのポイントを理解する。	
					1	4 「考えを深める」設問③に取り組み、大人になった「私」の思いについて想像し、話し合う。	
		卒業ホームラン P37 4時間	指C(1)イ 指C(1)エ 〔伝・国イ(イ)〕 活C(2)ア	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の言葉や行動がどんな意味を持っているかに注意して、作品を読み味わう。 登場人物のものの見方や考え方について、自分の考えを持つ。 	1	1 「てびき」(P52)を見て、学習目標を確認し、学習の見通しを持つ。 *「字のない葉書」と共通の学習目標であり、前の学びを生かしていくことを確認するとよい。 2 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字を確認する。	<input type="checkbox"/> 人物の発言や言葉遣い、行動・態度に注意して、徹夫や智、典子の思いを捉えている。〔3〕 <input type="checkbox"/> 作品中の人物について、特徴を捉え、考えたことを挙げている。〔4～5〕
				2	3 「読み取る」設問①～②(P52)に取り組み、登場人物の言葉や行動から読み取れる思いに注意して作品を読み味わう。 *「言葉の力 登場人物の言葉や行動の意味に注意する」(P36)を参照し、ポイントを振り返るとよい。 4 「考えを深める」設問③に取り組み、小説中の四人の家族から一人を選び、その人物について考えたことを紹介し合う。		
					0.7 (35分)	5 「考えを深める」設問④に取り組み、「卒業ホームラン」と「字のない葉書」に描かれている家族や父親像について、感	

				0.3 (15分)	<p>じたことや考えたことを書く。</p> <p>6 「広がる言葉／広がる漢字」(P53)に取り組み、語彙を増やし、漢字を確認する。</p> <p>*資P307～「言葉を広げよう——人物像を表す言葉」を見て、語彙を増やすための参考にするとよい。</p> <p>*この学習材に加えて、資P272～「カメレオン」を読み、人物の言動から人物像を捉える学習を深めるのもよい。</p>	
話す・聞く (聞く)	問題意識を持って聞こう P54 3時間	指 A(1)エ 〔 伝 ・ 国 イ(ウ)〕 活 A(2)ア	・表現の仕方や根拠の確かさに注意して聞き、自分の考えを広げる。	3	<p>1 学習目標(P54)を確認し、学習の見通しを持つ。</p> <p>2 手順①～③(P54～56)に取り組み、主観的な表現に気づいたり、考えの根拠を吟味したり、複数の発言を聞いて自分の考えを述べたりする。</p> <p>*「言葉の力 聞き取ったことを吟味する」(P56)を読んで、事実と主観を区別したり、考えの根拠を吟味したりしながら聞くためのポイントを確かめる。</p> <p>*Dこの学習材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	□事実と主観を聞き分け、相手の考えの根拠を吟味するとともに、聞き取ったことを踏まえて自分の考えを述べている。〔2〕
言葉 (漢字道場)	形の似た漢字 P57 1時間	伝 ・ 国 ウ(ア) 伝 ・ 国 ウ(イ)	・形の似た漢字に注意する。	0.6 (30分)	<p>1 「部首だけが違う漢字」「形が似た部首」(P57)を読んで、部首だけが違う形の似た漢字や、部首の中にも形が似たものがあることを知る。</p> <p>2 「全体の形が似た漢字」「一画の違い」(P58)を読んで、全体の形が似た漢字や、一画の有無が違いとなる漢字があることを知る。</p>	□部首の違いなど、形の似た漢字について理解している。〔1～3〕
				0.4 (20分)	<p>3 「問題」①～④(P57～58)に取り組む。</p>	

6～7月 (17時間)							
	領域 〈系統〉	学習材名・ページ数・配当時数	学習指導要領との対応	学習目標	配分	学習活動例 (*は指導上の留意点や別案)	評価規準例 〔 〕は学習活動例との対応
3 伝え方を工夫する	読む 〈構成・展開〉	鯉節——世界に誇る伝統食 P 60 4時間	指C(1)イ 指C(1)エ 〔伝・国イ(ア)〕 活C(2)イ	<ul style="list-style-type: none"> 文章全体と部分との関係や、筆者の書き方の工夫に注意して、内容を読み取る。 筆者のものの見方や考え方を捉え、自分の考えを持つ。 	1	1 タイトル下 (P60) や「てびき」(P67) を見て、学習目標を確認し、学習の見通しを持つ。 2 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字や語句を確認する。	<input type="checkbox"/> 文章のまとまりを捉えて全体を要約するとともに、筆者の書き方の工夫について気づいたことを挙げている。〔3〕 <input type="checkbox"/> 具体例を示しながら、伝統を受け継ぐことの大切さや難しさについて考えたことをまとめている。〔4〕
					2	3 「読み取る」設問①～③ (P67) に取り組み、文章の構成を捉えて文章全体を要約したり、筆者の書き方の工夫を捉えたりしながら、内容を読み取る。 *「言葉の力 文章の構成を捉え、要約する」を読んで、文章の構成を捉えたり、要約したりするためのポイントを理解する。 *次の「要約する」(P69/基P234～)を扱う際に、関連を意識させるとよい。	
					0.7 (35分) 0.3 (15分)	4 「考えを深める」設問④に取り組み、伝統を受け継ぐことの大切さや難しさについて自分の考えを書く。 5 「広がる言葉／広がる漢字」(P68) に取り組み、語彙を増やし、漢字を確認する。 *資P308～「言葉を上げよう——比喩的に使われる言葉」を見て、語彙を増やすための参考にするとよい。 *この学習材と併せて、資P278～「白川郷——受け継がれる合掌造り」を読み、伝統を受け継ぐことの意味について考えたり、文章の書き方の特徴を捉えたりするのもよい。	
	学びの扉 〈実用的な言葉の力／整理する力〉	要約する P 69 1時間	指C(1)イ	<ul style="list-style-type: none"> 要約の仕方のポイントを理解し、文章全体と部分との関係に注意して的確に要約する。 	1	1 学習材 (P69) を読んで、要約の仕方について知る。 2 基P234～「要約する」を読んで、的確な要約の仕方について理解を深める。また、「練習しよう」(P238) に取り組む。	<input type="checkbox"/> 要約の仕方のポイントを理解し、文章を的確に要約している。〔1～2〕
	学びの扉 〈実用的な説明する〉	テーマを立てて説明する	指B(1)ア	<ul style="list-style-type: none"> 調査して報告するために、ふさわしい 	1	1 学習材 (P70) を読んで、メモの情報をもとに、問いを考える。	<input type="checkbox"/> 調査して報告するために、ふさわしいテーマを考えている。〔1〕

言葉の力／ 説明する力)	P 70 1時間		テーマを立てる。		2 基 P239～「テーマを立てて説明する」を読んで、テーマの立て方について理解を深める。また、「練習しよう」(P241)に取り組む。	～2]
書く (伝達)	調べて考えたことを伝えよう——「食文化」のレポート P 71 6時間	指 B(1)ア 指 B(1)イ [伝・国ウ(イ)]	<ul style="list-style-type: none"> ・ふだんの生活やメディアなどで見聞きすることからテーマを決め、調査して自分の考えをまとめる。 ・調べて分かった事実や自分の考えが明確に伝わるように、構成を工夫してレポートを書く。 	4	1 学習目標 (P71) を確認し、学習の見通しを持つ。 2 手順①～③ (P72～74) に取り組み、「食文化」について調べてみたいことをテーマとして設定し、情報を集めて整理し、構成を考える。 * 「言葉の力 テーマを設定する／レポートの構成を工夫する」(P72、74) を読んで、テーマを設定したり、分かりやすい構成でまとめたりするためのポイントを確認する。 * 前の「テーマを立てて説明する」(P70/基 P239～) で学んだことを生かして取り組むとよい。 * 資 P298～「話すこと・書くこと 題材例」を見て、テーマ設定の参考にするのもよい。 * 資 P300～「発想・整理の方法」を見て、情報整理の参考にするのもよい。	<input type="checkbox"/> 興味のあることをもとにテーマを設定し、さまざまな情報を集めて考えをまとめている。[2の①～②] <input type="checkbox"/> 事実と自分の考えとを区別したり、調査結果をまとまりごとに分け、示す順序を考えたりしてレポートを書いている。[2の③、3]
				1	3 手順④ (P74～76) に取り組み、レポートを書く。	
				1	4 手順⑤ (P74) に取り組み、レポートを読み合せて意見を交換する。 5 「学習を振り返ろう」(P74) を読み、学習を振り返って自己評価をする。	
言葉 (文法の窓)	用言の活用——ばらばら動詞カードをかたづける P 77 2時間	伝・国イ(エ)	・用言の活用形の種類や、活用の仕方について理解する。	0.3 (15分)	1 学習材 (P77) を読んで、動詞を活用形によって整理する。また、「考えよう」に取り組む。 * D この学習材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。	<input type="checkbox"/> 用言の六種類の活用形や、活用の仕方について理解している。[1～2]
				1.7 (85分)	2 基 P258～「用言の活用」を読んで、用言の活用形の種類や、動詞・形容詞・形容動詞それぞれの活用の仕方について理解を深める。また、「問題」1～4 (P261) に取り組む。	
言葉 (漢字道場)	漢字の意味 P 78 1時間	伝・国ウ(ア) 伝・国ウ(イ)	・漢字の意味を理解し、漢字を使いこなす。	0.6 (30分)	1 「似た意味の漢字」「反対の意味の漢字」(P78) を読んで、似た意味の漢字の組や、反対の意味の漢字の組があることを知る。	<input type="checkbox"/> 似た意味や反対の意味、思いがけない意味を持つ漢字について理解し、使いこなしている。[1

					2 「複数の意味・思いがけない意味」(P79)を読んで、多くの漢字が複数の意味を持つこと、なかには思いがけない意味を持つ漢字もあることを知る。	～3]
				0.4 (20分)	3 「問題」①～③(P78～79)に取り組む。	
読む (読書)	小さな労働者 P80 2時間	指C(1)オ 〔伝・国ウ(ア)〕	・本を読み、その魅力について自分の考えをまとめる。	1	1 「本で世界を広げよう〈人権〉」のタイトル下(P86)を見て、学習目標を確認し、学習の見通しを持つ。 2 「小さな労働者」全文を通読し、それぞれの写真やハインの仕事について、気づいたことや感想をノートにまとめる。適宜、漢字を確認する。	□作品の魅力を伝える宣伝文やキャッチコピーを考え、まとめている。〔3〕
				0.8 (40分)	3 資P286「読書活動を楽しもう——本の広告カードを作ろう」を参考に、「小さな労働者」の広告カードを作る。	
				0.2 (10分)	4 「読書案内」(P86～88)を読み、今後の読書生活の参考にする。 *「小さな労働者」以外に、「読書案内」などから本を選んで広告カードを作るのもよい。	

9～10月 (19時間)							
	領域 〈系統〉	学習材名・ページ数・配当時間	学習指導要領との対応	学習目標	配分	学習活動例 (※は指導上の留意点や別案)	評価規準例 (〔 〕は学習活動例との対応)
4 説得力を高める	読む (吟味・判断)	哲学的思考のすすめ P 90 5時間	指C(1)イ 指C(1)エ 〔伝・国イ(イ)〕 活C(2)イ	<ul style="list-style-type: none"> 論の進め方を捉え、文章の内容を読み取る。 筆者の考えなどについて、知識や体験と関連づけて自分の考えを持つ。 	1	1 タイトル下 (P90) や「てびき」(P96) を見て、学習目標を確認し、学習の見通しを持つ。 2 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字や語句を確認する。	<input type="checkbox"/> 論の進め方を捉えるとともに、文章中で使われている「考えるための技術」を挙げている。〔3〕 <input type="checkbox"/> 自分の知識や体験と関連づけながら、論証を吟味したり、身近なことについて考えたりしている。〔4〕
					3.7 (185分)	3 「読み取る」設問①～③ (P96) に取り組み、筆者の論の進め方を捉え、文章の内容を読み取る。 4 「考えを深める」設問④に取り組み、筆者の論証を吟味したり、身近なことについて実際に考えたりする。 * 「言葉の力 論証を吟味する」を読んで、論証の吟味の仕方を理解する。 * 次の「論証の組み立てを捉える」(P98/基P242～) を扱う際に、関連を意識させるとよい。	
					0.3 (15分)	5 「広がる言葉／広がる漢字」(P97) に取り組み、語彙を増やし、漢字を確認する。 * 資P309「言葉を広げよう——頻度を表す言葉」を見て、語彙を増やすための参考にするとい。	
	学びの扉 (論理的な言葉の力／分析する力)	論証の組み立てを捉える P 98 1時間	指C(1)イ	<ul style="list-style-type: none"> 論証の組み立てを捉え、説得力があるかどうかを吟味する。 	1	1 学習材 (P98) を読んで、論証の組み立てを捉え、説得力があるかどうかを考える。 2 基P242～「論証の組み立てを捉える」を読んで、論証の組み立てや、説得力のある論証について理解を深める。また、「練習しよう」(P244) に取り組む。	<input type="checkbox"/> 論証の組み立てを捉え、説得力が十分にあるかどうか、説得力が弱いとしたらどうしてかを考えている。〔1～2〕
	書く (論証・説得)	反対意見を想定して書こう——意見文 P 99 6時間	指B(1)イ 指B(1)ウ	<ul style="list-style-type: none"> 自分の立場を明確にして、分かりやすい構成で意見文を書く。 意見が効果的に伝わるように、根拠を具体的に記述した 	1 5	1 学習目標 (P99) を確認し、学習の見通しを持つ。 2 手順① (P100) に取り組み、的確な反論を考える練習をする。 3 手順②～⑥ (P101～104) に取り組み、反対意見を想定した意見文を書く。 * 「言葉の力 反論を考える／分かりやすい構成で意見文をまとめる」(P102、103) を読んで、反論の考え方や、意見文	<input type="checkbox"/> 自分の立場(主張)を明確にし、「主張」「根拠」「反対の主張の根拠への反論」「まとめ」の順で書くなど、分かりやすい構成で書いている。〔3の⑤〕 <input type="checkbox"/> 自分の主張に説得力を持たせるために、根拠を具体的に記述し

			り、他の立場への反論を盛り込んだりする。		の構成のポイントを確かめる。 4 「学習を振り返ろう」(P104)を読み、学習を振り返って自己評価をする。	たり、他の立場への的確な反論を盛り込んだりしている。〔2、3の②～④〕
		〔伝・国イ(オ)〕 ④ B(2)イ				
話す・聞く 〈話す〉	説得力のある提案をしよう—— プレゼンテーション P105 5時間	指A(1)イ 指A(1)ウ 〔伝・国イ(オ)〕 ④ A(2)ア	・聞き手の立場や考えを想定して、説得力のある話を組み立てる。 ・資料や機器を活用して、分かりやすく印象的に話す。	5	1 学習目標(P105)を確認し、学習の見通しを持つ。 2 手順①～⑥(P106～110)に取り組み、グループごとに提案を決めてプレゼンテーションをする。 *「言葉の力 説得力のある話を組み立てる/資料や機器を活用する」(P108、109)を読んで、説得力のある話の組み立て方や、資料や機器を生かした発表の仕方のポイントを確かめる。 3 「学習を振り返ろう」(P109)を読み、学習を振り返って自己評価をする。 *Dこの学習材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。	□提案理由を説得力のあるものに練りあげるとともに、質問や意見を予想し、答えの示し方を工夫している。〔2の③～④〕 □写真や絵、グラフや図表を取り入れて資料を作成し、機器を活用したり資料の提示方法を工夫したりしている。〔2の⑤～⑥〕
言葉 〈文法の窓〉	助詞——文よ、 助詞で大きく育て P111 1時間	〔伝・国イ(エ)〕	・助詞の種類や働きについて理解する。	0.2 (10分)	1 学習材(P111)を読んで、多くの助詞を使った文を作る。 また、「考えよう」に取り組む。 *Dこの学習材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。	□四種類の助詞があることを知り、それぞれの働きについて理解している。〔1～2〕
				0.8 (40分)	2 基P262～「助詞」を読んで、助詞の種類や働きについて理解を深める。また、「問題」1～2(P263)に取り組む。	
言葉 〈漢字道場〉	同訓異字 P112 1時間	〔伝・国イ(イ)〕 〔伝・国ウ(ア)〕 〔伝・国ウ(イ)〕	・同訓異字を理解し、適切に使い分ける。	0.6 (30分)	1 「用言の同訓異字」「体言の同訓異字」(P112～113)を読んで、動詞や体言には同訓異字があることを知る。	□用言と体言の同訓異字を理解し、文脈に応じて適切に使い分けている。〔1～2〕
				0.4 (20分)	2 「問題」①～③(P112～113)への取り組みを通して、同訓異字を使い分ける。	

10～11月 (18時間)							
領域 (系統)	学習材名・ページ数・配当時間	学習指導要領との対応	学習目標	配分	学習活動例 (*は指導上の留意点や別案)	評価規準例 (〔 〕は学習活動例との対応)	
読む (詩(日本語のしらべ))	落葉松 P114 1時間	指C(1)ア 〔伝・国イ(イ)〕	・詩に描かれた情景や心情を捉え、リズムを感じ取りながら朗読する。	0.2 (10分) 0.8 (40分)	1 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。 *古語や文語文法による表現については、適宜、意味を確認する。 2 詩に描かれた情景や心情を捉え、リズムを感じ取りながら朗読する。 3 「詩人と作品」(P116)を読み、北原白秋について知る。	<input type="checkbox"/> 詩に描かれた情景や心情を捉え、五七調の文語詩のリズムを感じ取りながら朗読している。 〔2〕	
5 伝 統 文 化 を 楽 し む	古典 枕草子・徒然草 P118 4時間	伝・国ア(イ) 指B(1)ウ 指C(1)エ	・筆者のものの見方や考え方、表現の仕方を捉える。 ・見聞きしたことや体験したことをもとに、表現を工夫して随筆を書く。	4	1 タイトル下(P118)や「てびき」(P126)を見て、学習目標を確認し、学習の見通しを持つ。 2 「枕草子・徒然草」の解説(P118～121)を読み、二つの随筆作品の序段に触れ、両作品の特徴を知る。 3 「枕草子」の解説(P122)を読み、作品の成り立ちや概要を知る。そのうえで、「九月ばかり、夜一夜降り明かしつる雨の」(P123)を読み、内容を大まかにつかむ。 4 「読み取る」設問①(P126)に取り組み、筆者が「をかし」と感じたものを捉える。 5 「徒然草」の解説(P124)を読み、作品の成り立ちや概要を知る。そのうえで、「仁和寺にある法師」(P125)を読み、内容を大まかにつかむ。 6 「読み取る」設問②(P126)に取り組み、作品に描かれた人物の言動を踏まえて、筆者の考えを捉える。 *古典コラム「係り結び」の内容にも触れ、係り結びについて確認する。 7 「考えを深める」設問③に取り組み、「枕草子」と「徒然草」からよい表現やおもしろい目のつけどころを探して発表し合う。 8 「書く」設問④に取り組み、「枕草子」や「徒然草」に倣って、見聞きしたことや体験したことをもとに、短い随筆を書く。	<input type="checkbox"/> 二つの随筆作品から、筆者のものの見方や考え方、表現の仕方を捉えている。〔4、6～7〕 <input type="checkbox"/> 二つの随筆作品を参考にしながら、見聞きしたことや体験したことをもとに、表現を工夫して随筆を書いている。〔8〕	

				<p>*この学習材と併せて、資P290～「清少納言と紫式部」を読み、「枕草子」が成立した時代背景や筆者の人物像を知るのもよい。</p> <p>*Dこの学習材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	
<p>平家物語 P128 4時間</p>	<p>伝・国ア(ア) 指C(1)エ 〔伝・国ア(イ)〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・表現の特徴に注意して朗読し、古典の世界を楽しむ。 ・描かれた状況や心情を読み取り、武士の価値観や生き方について考える。 	4	<p>1 タイトル下(P128)や「てびき」(P141)を見て、学習目標を確認し、学習の見通しを持つ。</p> <p>2 「平家物語」の解説(P128)を読み、作品の成り立ちや概要を知る。</p> <p>3 「祇園精舎」(P129～130)を読み、そこに表された人生観に触れる。</p> <p>*更に、作品の背景となる「源平の合戦」(P131～134)や、平清盛など「主な登場人物」(P135)、作品中のエピソードの一つである「敦盛の最期」(P136)について知るのもよい。</p> <p>4 「那須与一」(P137～139)を読み、内容を大まかにつかむ。</p> <p>5 「読み取る」設問①～②(P141)に取り組み、表現の特徴に注意して古文を朗読し、場面の状況や登場人物の心情を読み取る。</p> <p>*古典コラム「文体を味わう」を適宜参照し、表現の特徴を確認する。</p> <p>6 「弓流」(P140)を読み、内容を大まかにつかむ。</p> <p>7 「考えを深める」設問③に取り組み、当時の武士の価値観や生き方について考えたことをまとめる。</p> <p>*Dこの学習材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	<p><input type="checkbox"/>助詞を付けない表現や、七五調、対句、擬音語など、表現の特徴に注意して朗読している。〔5の①〕</p> <p><input type="checkbox"/>与一の置かれていた状況や気持ちを捉えるとともに、当時の武士の生き方について読み取り、考えたことをまとめている。〔5の②、7〕</p>
<p>漢詩 P142 3時間</p>	<p>伝・国ア(ア) 指C(1)ウ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・表現の特徴に注意して朗読し、漢詩を味わう。 ・情景を描いた表現の効果について考える。 	3	<p>1 タイトル下(P142)や「てびき」(P145)を見て、学習目標を確認し、学習の見通しを持つ。</p> <p>2 「漢詩」の解説(P142)を読み、漢詩や代表的な詩人について知る。</p> <p>3 「黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る」(P143)を読み、内容を大まかにつかむ。</p>	<p><input type="checkbox"/>漢詩の形式を理解し、対句などの特徴的な表現に注意して朗読・暗唱している。〔4の①、③〕</p> <p><input type="checkbox"/>描かれている情景や作者の心情を捉えるとともに、自然を表す表現の効果について気づいたこ</p>

					<p>4 「読み取る」設問①～③ (P145) に取り組み、朗読・暗唱を通して漢詩を味わい、漢詩に描かれている情景・心情や、表現上の特徴を捉える。</p> <p>* 古典コラム「漢詩の形式」を適宜参照し、漢詩の形式を確認する。</p> <p>5 「考えを深める」設問④に取り組み、情景描写の効果について考え、話し合う。</p> <p>6 「春望」(P144) についても、3～5の手順で学習する。</p> <p>* この学習材と併せて、資P293～「漢詩の世界」を読み、漢詩の味わい方を学ぶのもよい。</p> <p>* Dこの学習材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	とを挙げている。[4の②、5]
書く (通信・手紙)	依頼状やお礼状 を書こう P146 3時間	指 B(1)エ 【伝・国イ(オ)】 ④ B(2)ウ	・ 書いた文章を読み返し、語句や文の使い方などに注意して推敲する。	<p>1</p> <p>1 学習目標 (P146) を確認し、学習の見通しを持つ。</p> <p>2 手順① (P146) に取り組み、手紙の書き方を理解したうえで、職場体験の依頼状を推敲する。</p> <p>* 「言葉の力 手紙を推敲する」(P146) を読んで、手紙を推敲する際のポイントを確かめる。</p> <p>* 手紙の形式については、資P304～「手紙の書き方」を見て確認する。</p> <p>2</p> <p>3 手順② (P147) に取り組み、手紙の書き方を確認したうえで、職場体験のお礼状を書く。</p>	□手紙文を読み返し、手紙の形式や、伝える情報の漏れ、言葉遣いの適切さなどに注意して推敲している。[2～3]	
言葉 (日本語探検)	話し言葉と書き 言葉 P148 1時間	伝・国イ(ア) 伝・国イ(オ)	・ 話し言葉と書き言葉の特徴について理解する。	<p>1</p> <p>1 学習材 (P148～149) を読んで、話し言葉と書き言葉の違いや、それぞれの特徴について理解する。適宜、漢字を確認する。</p> <p>2 「問題」①～② (P149) に取り組む。</p>	□話し言葉と書き言葉の違いや、それぞれの特徴について理解している。[1～2]	
言葉 (文法の窓)	助動詞——絵と 助動詞を合わせ よう P150 2時間	伝・国イ(エ)	・ 助動詞の種類や意味について理解する。	<p>0.3 (15分)</p> <p>1 学習材 (P150) を読んで、示されたイラストと助動詞の組み合わせを考える。また、「考えよう」に取り組む。</p> <p>* Dこの学習材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p> <p>1.7 (85分)</p> <p>2 基P264～「助動詞」を読み、助動詞の種類や意味について理解を深める。また、「問題」1～3 (P267) に取り組む。</p>	□助動詞の働きを知り、さまざまな種類の助動詞がそれぞれ異なる意味を持つことを理解している。[1～2]	

11～12月 (10時間)							
	領域 〈系統〉	学習材名・ページ数・配当時間	学習指導要領との対応	学習目標	配分	学習活動例 (*は指導上の留意点や別案)	評価規準例 〔 〕は学習活動例との対応
6 描写を味わう	読む 〈文学二〉	走れメロス P152 6時間	指C(1)イ 指C(1)ウ 〔伝・国イ(イ)〕 活C(2)ア	・人物や情景の効果的な描写に着目して、作品を読み深める。 ・場面の展開や表現の仕方について、自分の考えをまとめる。	1	1 タイトル下 (P152) や「てびき」(P169) を見て、学習目標を確認し、学習の見通しを持つ。 2 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字や語句を確認する。	□場面ごとの人物や情景の効果的な描写に着目し、メロスと王の人物像や、考えの変化を捉えている。〔3〕 □展開や表現の工夫について、具体的な箇所を指摘しながら、気づいたことや考えたことを挙げている。〔4〕
					3.7 (185分)	3 「読み取る」設問①～④ (P169) に取り組み、人物や情景の効果的な描写に着目して作品を読み深める。 *「言葉の力 人物像に着目する」を読んで、人物像について理解する。 *次の「人物像を捉える」(P171/基P248～)を扱う際に、関連を意識させるとよい。	
					1	4 「考えを深める」設問⑤に取り組み、展開や表現の仕方の工夫について、気づいたことや考えたことを話し合う。	
					0.3 (15分)	5 「広がる言葉／広がる漢字」(P170) に取り組み、語彙を増やし、漢字を確認する。 *資P309～「言葉を広げよう——喜怒哀楽を表す言葉」を見て、語彙を増やすための参考にするとよい。	
	学びの扉 〈創造的な言葉の力／解釈する力〉	人物像を捉える P171 1時間	指C(1)イ	・人物の言動の意味に注意して、人物像を捉える。	1	1 学習材 (P171) を読んで、人物像について知り、例文のもとに人物像を捉える。 2 基P248～「人物像を捉える」を読んで、人物像の捉え方や多面性について理解を深める。また、「練習しよう」(P250) に取り組む。	□例文に示された人物の言動の意味に注意して、人物像を捉えている。〔1～2〕
	言葉 〈日本語探検〉	類義語・対義語 P172 1時間	伝・国イ(イ)	・類義語や対義語について理解する。	1	1 学習材 (P172～173) を読んで、類義語や対義語について理解する。適宜、漢字を確認する。 2 「問題」①～② (P173) に取り組む。	□類義語と対義語について理解している。〔1～2〕
	読む 〈読書〉	歴史の物差し ——水月湖の年縞 P174	指C(1)オ	・複数の情報源から情報を得て、比べながら自分の考えをまとめる。	1	1 「本で世界を広げよう (科学・歴史)」のタイトル下 (P182) を見て、学習目標を確認し、学習の見通しを持つ。 2 「歴史の物差し——水月湖の年縞」全文を通読し、水月湖の「年縞」について、分かったことや調べてみたいことをノ	□読んだ文章について、調べたことや話し合ったことを踏まえ、自分の考えをまとめている。〔3〕

		2時間	〔伝・国ウ(ア)〕 ⑧ C(2)ウ		<p>一トにまとめる。適宜、漢字を確認する。</p> <p>0.8 (40分)</p> <p>3 〔資〕P287「読書活動を楽しもう——ミニ読書会を開こう」を参考に、グループで「歴史の物差し——水月湖の年縞」のミニ読書会を開く。 *水月湖の年縞に関して、本文と読み比べるための資料をあらかじめ用意しておくのもよい。</p> <p>0.2 (10分)</p> <p>4 「読書案内」(P182~184)を読み、今後の読書生活の参考にする。 *「歴史の物差し——水月湖の年縞」以外に、「読書案内」などから、グループで本や作品を一つ選び、ミニ読書会を開くのもよい。</p>	
--	--	-----	----------------------	--	---	--

1～3月 (27時間)							
	領域 〈系統〉	学習材名・ページ数・配当時間	学習指導要領との対応	学習目標	配分	学習活動例 (*は指導上の留意点や別案)	評価規準例 〔 〕は学習活動例との対応
効果的に表現する	読む 〈言葉とメディア〉	「正しい」言葉は信じられるか P186 3時間	指C(1)ウ 〔伝・国イ(イ)〕 ⑧C(2)ウ	・事実の述べ方による、読み手に与える印象の違いについて考える。	1 2	1 「てびき」(P191)を見て、学習目標を確認し、学習の見通しを持つ。 2 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字を確認する。 3 「読み取る」設問①～②(P191)に取り組み、文章の内容を読み取る。 4 「考えを深める」設問③(P191～192)に取り組み、複数の記事を読み比べて、印象の違いとその理由について考える。 *「言葉の力 事実と言葉の関係を意識する」(P192)を読んで、事実と言葉の関係について理解する。	□事実の述べ方による、読み手に与える印象の違いや、その理由について考え、理解している。〔3～4〕
	書く 〈情報発信〉	タウン誌の記事を推敲しよう P193 3時間	指B(1)エ 〔伝・国イ(オ)〕	・構成や表現の効果について考えて、文章を推敲する。	1 1 1	1 学習目標(P193)を確認し、学習の見通しを持つ。 2 手順①～②(P193～194)に取り組み、原稿を読んで推敲のポイントを確認する。 *「言葉の力 より効果的に伝わるように推敲する」(P194)を読んで、より効果的に伝わるように文章を推敲する際のポイントを確認する。 3 手順③(P194)に取り組み、タウン誌の記事を推敲する。 4 手順④(P195)に取り組み、推敲したタウン誌を読み合い、意見を交換する。	□構成や表現の効果について考えて、より効果的に伝わるように記事を推敲している。〔2～4〕
	学びの扉 〈論理的な言葉の力／議論する力〉	反論する P196 1時間	指A(1)オ	・議論の問題点を捉えたり、的確な反論を考えたりする。	1	1 学習材(P196)を読んで、水かけ論について知り、的確な反論を考える。 2 〔基〕P245～「反論する」を読んで、独断的に考えを言い合う水かけ論や、的確な反論の仕方、隠れた前提について理解を深める。また、「練習しよう」(P247)に取り組む。	□議論の問題点を捉えたり、的確な反論を考えたりしている。〔1～2〕
	話す・聞く 〈話し合う〉	話し合いで問題を検討しよう ——リンクマップ	指A(1)ア	・さまざまなメディアを使って討論のテーマを決め、メリ	6	1 学習目標(P197)を確認し、学習の見通しを持つ。 2 手順①～③(P198～201)に取り組み、テーマを決めてリンクマップによる話し合いを行う。	□さまざまなメディアを使って討論のテーマを決め、メリットやデメリットを挙げている。〔2の

	<p>プによる話し合い</p> <p>P 197 6時間</p>	<p>指A(1)オ</p> <p>〔伝・国イ(イ)〕</p> <p>活A(2)イ</p>	<p>ットとデメリットを出し合う。</p> <p>・テーマについて話し合って検討し、意見をまとめる。</p>		<p>*「言葉の力 テーマを決め、メリットとデメリットを出し合う／テーマについて検討する」(P198、200)を読んで、テーマを決めてメリットとデメリットを出し合ったり、テーマについて検討を深めたりする際のポイントを確認する。</p> <p>*前の「反論する」(P196/基P245～)で学んだことを生かして取り組むとよい。</p> <p>*資P298～「話すこと・書くこと 題材例」を見て、テーマ設定の参考にするのもよい。</p> <p>3 「学習を振り返ろう」(P201)を読み、学習を振り返って自己評価をする。</p>	<p>①]</p> <p>□テーマについて話し合ってリンクマップを完成させ、更に検討して意見をまとめている。〔2の②～③〕</p>
<p>学びの扉 (創造的な言葉の力／表現する力)</p>	<p>想像を誘うように表現する</p> <p>P 202 1時間</p>	<p>指B(1)ウ</p> <p>〔伝・国イ(ウ)〕</p>	<p>・描き方を工夫して、想像を誘う表現をする。</p> <p>・文の中の語句の配列に注意する。</p>	<p>1</p>	<p>1 学習材(P202)を読んで、語句の配列によって想像を誘う効果が生まれることを知り、例文をもとに人物の行動の理由を想像する。</p> <p>2 基P251～「想像を誘うように表現する」を読んで、情報を伏せ、状況を徐々に描き出すことによって想像を誘うことについて理解を深める。また、「練習しよう」(P253)に取り組む。</p>	<p>□語句の配列を変えたり描写を取り入れたりして、想像を誘う表現をしている。〔2〕</p> <p>□語句の配列によって想像を誘う効果が生まれることを捉えている。〔1～2〕</p>
<p>書く (感性・創造)</p>	<p>いきいきと描き出そう——短歌から始まる物語</p> <p>P 203 6時間</p>	<p>指B(1)ウ</p> <p>指B(1)オ</p> <p>〔伝・国イ(ウ)〕</p> <p>活B(2)ア</p>	<p>・情景や心情などをいきいきと表すように、描写を工夫して物語を作る。</p> <p>・書いた物語を読み合って、材料の活用の仕方などについて意見を交換し、自分の考えを広げる。</p>	<p>3</p>	<p>1 学習目標(P203)を確認し、学習の見通しを持つ。</p> <p>2 手順①～②(P204～205)に取り組み、短歌から想像を膨らませ、物語の流れを決める。</p> <p>*創作の材料として、短歌以外に、俳句、写真、絵画などを用いてもよい。</p> <p>3 手順③(P206～207)に取り組み、描写の工夫について理解する。</p> <p>*「言葉の力 豊かに描写する」(P207)を読んで、豊かな描写を交えて想像を誘う表現するためのポイントを確認する。</p> <p>*前の「想像を誘うように表現する」(P202/基P251～)で学んだことを生かして取り組むとよい。</p>	<p>□場面の情景をいきいきと、五感に訴えるように描き出すとともに、会話文や行動・態度の描写から人物の心情が伝わってくるように書いている。〔4の③～④〕</p> <p>□作品を読み合い、発想の広げ方や、物語の流れ、描写などについて意見を述べたり、多様な発想や描写の工夫に気づいて考えを広げたりしている。〔5〕</p>
				<p>1</p>	<p>4 手順③～④(P206～209)に取り組み、描写を工夫して物語を書く。</p> <p>*資P307～「言葉を広げよう」を見て、登場人物の人物像や喜怒哀楽を考える際の参考にするのもよい。</p>	

				2	5 手順⑤ (P208) に取り組み、物語を読み合い、意見を交換する。 *「言葉の力 意見交換の観点を持つ」(P208) を読んで、作品を読んで意見を交換するためのポイントを確認する。 6 「学習を振り返ろう」(P209) を読み、学習を振り返って自己評価をする。	
言葉 (漢字道場)	同音異義語 P210 1時間	伝・国イ (イ) 伝・国ウ (ア) 伝・国ウ (イ)	・同音異義語を使い分ける。	0.6 (30分) 0.4 (20分)	1 「共通する漢字を持つ同音異義語」「共通する漢字を持たない同音異義語」(P210～211) を読んで、共通する漢字を持つ同音異義語や、共通する漢字を持たない同音異義語について知る。 2 「問題」①～④への取り組みを通して、同音異義語を使い分ける。	<input type="checkbox"/> 同音異義語について理解し、文脈に応じて使い分けしている。[1～2]
読む (詩(詩の言葉))	わたしが一番きれいだったとき P212 2時間	指C(1)ア 指C(1)エ 〔伝・国イ (イ)〕 ④C(2)ア	・心情が読み取れる言葉に注意して詩を読む。 ・詩に表れているものの見方や考え方について、感想を持つ。	0.3 (15分) 1.7 (85分)	1 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。 2 それぞれの連の言葉にどんな心情が表されているかを捉える。また、各連で繰り返される「わたしが一番きれいだったとき」という言葉に込められた思いを考える。 3 この詩に表れているものの見方や考え方について、感想を話し合う。	<input type="checkbox"/> それぞれの連の言葉から心情を読み取るとともに、各連で繰り返される言葉に込められた思いを捉えている。[2] <input type="checkbox"/> この詩に表れているものの見方や考え方について、自分の感想を述べている。[3]
読む (読書)	坊っちゃん P214 4時間	指C(1)エ 〔伝・国イ (イ)〕	・文学作品を読み、登場人物の考え方や人柄などについて考える。	1 2 0.6 (30分) 0.4 (20分)	1 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字を確認する。 2 主人公と清の行動や人柄、考え方についてどう思うか、話し合う。 3 話し合いを踏まえて、感想や考えを述べ合う。 4 「作家と作品」(P226) を読み、夏目漱石について知る。 5 「読書案内」(P227～229) を読み、今後の読書生活の参考にする。	<input type="checkbox"/> 主人公と清の人物像を捉え、感じたことや考えたことを挙げている。[2～3]

						<p>*<input checked="" type="checkbox"/> P286～「読書活動を楽しもう」に示された読書活動に取り組むのもよい。</p>	
<p>*移行措置</p>	<p>言葉 (漢字道場)</p>	<p>都道府県名で用いられる漢字</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>ウ(ア) <input checked="" type="checkbox"/>ウ(イ)</p>	<p>・都道府県名で用いられる漢字を読んだり書いたりする。</p>	<p>0.3 (15分)</p>	<p>1 都道府県名で用いられる次の漢字を、読んだり書いたりする。 茨、媛、岡、潟、岐、熊、香、佐、埼、崎、滋、鹿、縄、井、沖、栃、奈、梨、阪、阜</p> <p>*東京書籍のウェブページに、都道府県名で用いられる漢字の読み書きができる練習用紙を用意している。</p> <p>*既に前年度(1年)に学習している場合には、改めて学習する必要はない。</p>	<p><input type="checkbox"/>都道府県名で用いられる漢字を読んだり書いたりしている。 [1]</p>